

(2) 施策の方針

第5章 安全で快適な生活が送れるまち

分野(1) 防災・安全

施策の方針④ 防犯活動の充実・強化

<目標とすべきまちの姿>

市民の防犯意識は高く、積極的な地域防犯が図られています。地域防犯力の向上により、刑法犯認知件数は、引き続き減少傾向にあり、現在と同じく県内で最少の状況を保っています。また、犯罪が発生しにくい市街地の環境づくり等が進み、安全で安心して暮らすことができるまちづくりが推進されています。

1 事業評価結果一覧表

防災安全部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
防安-09	安全・安心まちづくり推進事業	109,185	128,174	2.5	b	A

2 平成26年度末の目標

防災安全部

「自らの安全は自らがまもる」、「地域の安全は地域で守る」の意識の高揚を図るための防犯教室等の周知を図る。環境にやさしく、省コストのLED型防犯灯への転換を一層推進する。

3 平成26年度の取組の評価

防災安全部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

・今まで実施していなかった私立幼稚園での防犯教室について周知を図り、2園で開催を行った。
・防犯灯のLED型防犯灯への一斉交換を実施するため、自治・町内会等が維持管理する防犯灯を市に移管する手続きをすすめることができた。

4 今後の方向性

防災安全部

・「自らの安全は自らがまもる」、「地域の安全は地域で守る」の意識の高揚を図るための防犯教室等の更なる周知を未実施の自治・町内会や私立幼稚園等に対し図る。
・環境にやさしく、省コストのLED型防犯灯への転換を一層推進する。

5 平成27年度末の目標

防災安全部

・新たに防犯教室等の開催する団体や施設を開拓し、防犯意識の高揚を図る。
・平成27年度中にESCO事業による防犯灯の一斉LED化を図る。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・自主防災組織の活動への支援(防災資機材等の購入補助)、自主防災組織が行う防災訓練等の支援などを行った。
- ・防犯灯のLED化をすすめた。
- ・市民の防犯意識が高く、犯罪の少ないまちづくりがすすめられている。
- ・市民と協働事業を実施している。

2 課題・提言

- ・行政と自主防災組織など、地域の連携の更なる推進が課題である。
- ・犯罪の少ないまちであるが、時代の変化で安心、安全とはいいきれない。地域と連携・協力体制を図りたい。